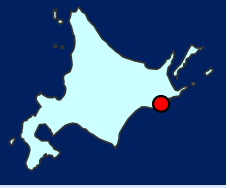
第3種 厚岸漁港
（北海道厚岸町）

厚岸地域マリンビジョン策定（モデル地域）

厚岸（あっけし）地区特定漁港漁場整備事業計画

厚岸圏域
流通拠点



現状と課題

・過去に津波や高潮により浸水等の被害を受けており、漁港施設の防災･減災対策が求められている。
・航路付近で発生する三角波や地域特有の強風により漁船の損傷被害が発生しており、漁船の安全な航行や係留に支障を来たしている。
・湖内航路の水深不足や漂砂による泊地埋没により、漁船の慎重な航行が余儀なくされている。

港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：638隻
利用漁船：648隻
（内、外来漁船：18隻）
属地陸揚量：10，623トン
属地陸揚金額：42．2億円
主な魚種：マイワシ、サンマ
組合員数：314人

◎厚岸漁港の役割

・道内外のサンマ棒受網、イカ釣り漁業が利用する全国有数の流通拠点
・コンブ、カキ、アサリ等の沿岸・養殖漁業の生産拠点

主　要　対　策

主な整備方針

・防災機能の強化を図るため、湖南地区において耐震強化岸壁や津波漂流物対策施設の整備、用地･道路の液状化対策、湖北地区において岸壁等の嵩上げ整備を行う。
・漁業活動の安全性向上を図るため、安全かつ効率的な航路の整備、係留漁船の強風による損傷防止のため防風柵の整備を行う。
・安定的な水産物供給体制を確保するため、湖内航路の整備や漂砂埋没対策としての防砂堤や泊地の整備を行う。

基本事項

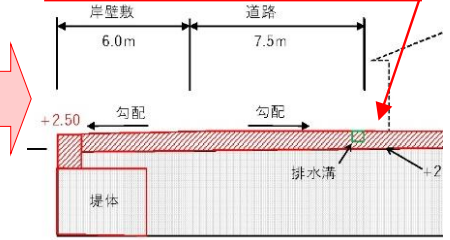
全体事業費：91．2億円
事業期間：R3～R12

主要な対策①：防災対策

津波来襲時の浸水区域

高潮時の岸壁状況

天端高の嵩上げによる高潮対策（イメージ）



主要な対策②：航路整備・防風対策

船体修理中の漁船

船底の損傷被害

強風時の港内擾乱